

第3学年 道徳学習指導案

日 時 平成23年 9月30日(金) 5校時
学 級 3年4組(男子18名, 女子15名 計33名)
授業者 奥州市立東水沢中学校 工藤久尚

1 主題名 きまりを守る 【 4-(1) 法やきまりの遵守 権利と義務 社会の秩序と規律 】

2 資料名 二通の手紙 (学研 「かけがえのない きみだから」)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

本時の授業は、内容項目 4-(1)「法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。」に基づいて指導するものである。

生徒たちは社会のしくみ、法やきまりにおけるルールや義務の意義について、ある程度は理解できるようになっている。ルールを変えたり、つくることの意味まで把握できるようになっている生徒もいる。しかし一方では、ルールには無目的に従えばそれだけでよいと思っていたり、ルールは日常を拘束するものとして軽んじて見せたり、さらにそれに同調する姿が見られることもある。そこで本資料を通してルールは自分たちの生活や権利を守るためにあり、それを遵守することの大切さを自覚させると共にそれらを遵守して社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする意欲を育てることが重要と考え、本主題を設定した。

(2) 生徒について

全体的に落ち着いている雰囲気である。本学級は、きまりを守り、当番活動をしっかり行い、まじめに物事に取り組む生徒が多い。しかし、一人ひとりを見るとルールに無頓着な生徒がいたり、それに対して級友として積極的に関わっていたり、注意したりするようなことは少ない。約束事を守って諸活動を進めているが、ルールの意味や意義をしっかりとつかんでいるとは言えない。

本授業を通して、学校生活や世の中全体の生活を見つめ直し、ルールを守ることの大切さについて考えを深めさせたい。特にルールを守ることや自他の権利を重んじ義務を果たすことで社会が成り立っていることに目を向けさせ、自らがその一員である意識を高めていくように指導していきたい。

(3) 資料について

この資料は、白木みどり作〔道徳教育推進指導資料〔指導の手引き〕6中学校 社会のルールを大切にする心を育てる〕(文部省平成9年)である。

市営動物園の入園係の仕事をしていた元さんは、規則違反を知らずながら幼い姉弟の入園を許可してしまう。その姉弟は閉門時刻が過ぎても戻らず、多くの人に迷惑をかけてしまう。元さんは、後日姉弟の母親から感謝の手紙をもらう一方、上司からは解雇通知(手紙)を受け、職場を去ることになる。

本資料では、元さんの生き方と二通の手紙のもつ意味を考えさせることにより、学級の生徒にきまりを守ることの大切さを心に刻ませ、ルールや自他の権利を重んじることで社会が成り立っていることをしっかりとらえさせたい。

4 研究主題との関連

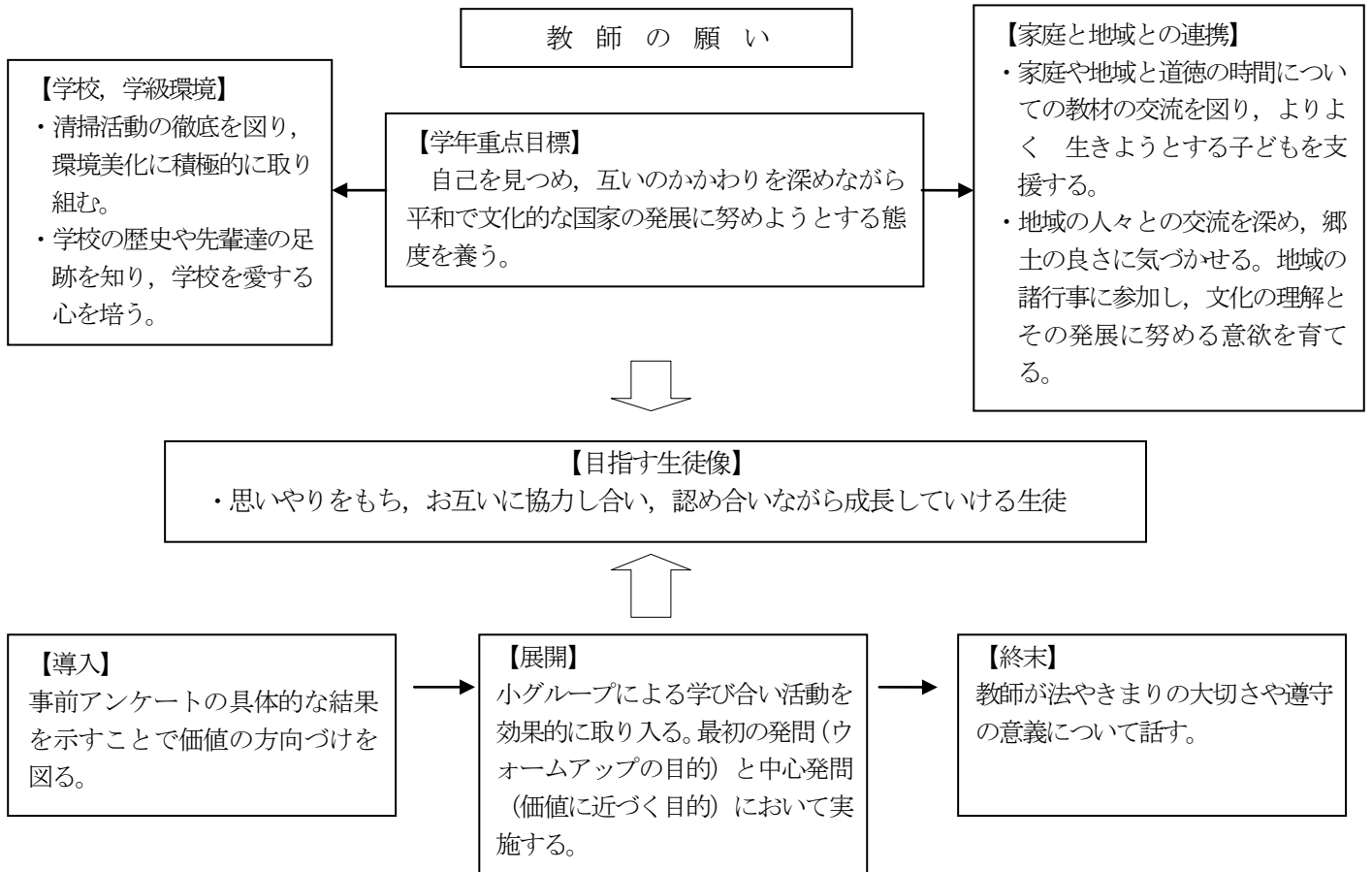
座席にコの字型を取り入れ、お互いに顔を見て、向き合うことで意識を高めていけるようにしている。教師が生徒の発言をつなぎ、広めながら授業を展開していくことで、学びあいが深まっていくようにしている。小グループでの意見交流・学びあいの場を設定することで、学習の雰囲気を高めさせている。

これらのことにより、生徒の学びあいを定着・習慣化させていきたいと考えている。学びを深めることにより、自己を見つめると共に他者を認め、よりよい人間関係の構築へとつなげていきたい。

本授業においては、展開の最初の発問と中心発問において小グループの学びあいを取り入れていきたい。主たる目的は初めはウォームアップとして、次の場面では価値に近づくこととしたい。

5 指導の構想

「法や規則やきまり（ルール）の大切さを理解して遵守し、ルールを守ることで秩序と規律ある社会を実現しようとする心情」を育成する指導の構想



[本時を要として位置づけた指導構想図]

月	特別活動・体験的活動	道徳の時間	各教科等の学習	日常活動・その他		
5月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[生徒会活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭活動 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇主題名 きまりを守る</p> <p>資料名「二通の手紙」</p> <p>ねらい: 法やきまりの大切さを理解して遵守し, 秩序と規律ある社会を実現しようとする心を育てる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[社会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人と社会生活 現代社会を捉える見方や考え方 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の学級活動においても, 意見交流する場面を設定する。 		
6月					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3年生が決めるルールや約束, きまりを守る活動</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[数学]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理 原理, 法則への理解を深める </div>
7月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[生徒会活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭活動 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇主題名 互いに快く</p> <p>資料名「江戸しぐさは心のマナー」</p> <p>ねらい: 思いやりの心や回りへの配慮を大切にし, 迷惑をかけることのない行動の仕方を身につけ, 互いに住みやすい社会を実現しようとする態度を育てる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[学活]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の学級活動 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の学級活動においても, 意見交流する場面を設定する。 ・行事取り組みのルールを条件を考えて決める場面を設定する。 		
9月					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3年生が決めるルールや約束, きまりを守る活動</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[総合的な学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育 ・職場体験学習 </div>
10月					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[進路]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な進路選択 </div>	
11月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[進路]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な進路選択 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>世の中, 社会のきまり</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[進路]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な進路選択 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>世の中, 社会のきまり</p> </div>		

6 本時の指導

(1) ねらい

法や規則やきまり（ルール）の大切さを理解して遵守し，ルールを守ることで秩序と規律ある社会を実現しようとする心情を育てる。

(2) 展開

段階	時間	学習活動と主な発問	予想される生徒の発言や心の動き	指導上の留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりがあって、嫌だと思ったことやよかったことなど聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守らなくても、少しくらいなら大丈夫だった例を話す。 ・規則についてどうしていいかわからなかった例を話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートも活用しながら、授業に方向をつける。
展開	前段 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読んで「元さん」の心情について考える。 ○姉弟を入園させた時、元さんはどんな気持ちだったのか。 ○姉弟が戻るのを待つ時、元さんはどんなことを考えていたのか。 ○二通の手紙を前に、元さんはどんなことを考えていたのか。 ◎元さんがはればれとした顔で身のまわりを片付け始めたのはどうしてか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事情があり入園できない姉弟を喜ばせたい。 ・毎日来ていた姉弟の願いを大切にしよう。 ・少しくらいだから（規則を破っても）大丈夫だろう。 ・もうすぐ暗くなってしまう。とにかく無事に戻ってほしい。 ・動物園に入園させなければよかった。 ・周囲にも迷惑をかけてしまった。 母から <ul style="list-style-type: none"> ・入園させてよかった。 ・いいことをした。 園から <ul style="list-style-type: none"> ・間違いだった。 ・無責任だった。 ・大切なことに気付くことができてよかった。 ・教訓を生かして新たな気持ちで生活しよう。 ・あのことは間違いだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元さんのまじめで勤勉な勤務態度を想起させながら、人物としての優しい人柄や人情味ある行動に共感させたい。 ・搜索場面について指摘しながら、「祈るような気持ち」に着目させて、後悔を含め、さまざまな思いがあったことを考えさせたい。 ・それぞれの手紙についてふれながら、「考えさせられることばかり」に着目させ、きまりを守るの意味についてしっかりと考えさせたい。 ・きまりにはきびしくしなければならぬ理由があることをおさえつつ、元さんの前向きな生き方に共感させたい。
	後段 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノートp92を活用し、自分の振り返りを行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・門限、町のきまり、法律、友達の取り決め、条例、校則、部活動の規則、クラスのきまりなどについて考える時間をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身への振り返りを図るように、考えさせる。
終末	2分	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が法やきまりの大切さや遵守の意義について話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの気持ちをつくる。 	

7 資料分析表

資料名「二通の手紙」 主題名【 4－(1) 法やきまりの遵守 権利と義務 社会の秩序と規律 】
 (出典：『かけがいのないきみだから 中学生の道徳3年』 学研)

ねらい 法や規則やきまり（ルール）の大切さを理解して遵守し、ルールを守ることで秩序と規律ある社会を実現しようとする心情を育てる。

主な場面	姉弟に入園をさせてほしいとたのまれる場面	事務所で子どもが見つかるのを待つ場面	お礼の手紙と解雇通知が届く場面	身の回りの片づけを始める場面
主人公の意識	<ul style="list-style-type: none"> 何か事情があり入園できない姉弟を喜ばせたい。 毎日来ていた子どもの願いを大切にしよう。 少しくらいなら（規則を破っても）大丈夫だろう。 	<ul style="list-style-type: none"> もうすぐ暗くなってしまふ。とにかく無事に戻ってほしい。 動物園に入園させなければよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 入園させてよかった。 喜ばれてよかった。 きまりを守ることは大切だ。 無責任な判断だった。 間違いだった。 	<ul style="list-style-type: none"> 大切なことに気付くことができてよかった。 教訓を生かして新たな気持ちで生活していこう。
学習者の意識	<ul style="list-style-type: none"> 元さんは優しい。 規則違反と言っても少しくらいなら大丈夫だろう。 違反はよくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 無事を祈る気持ちはよくわかる。 何事もなく出口に来てほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 無事だったから感謝の手紙をもらえたが、一つ違えば取り返しのつかないことになっていた。 うれしかっただろう。 間違いだった。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則を違反したことへのけじめが必要だ。 やはりきまりを守ることは大切だ。
意識の焦点化	<ul style="list-style-type: none"> 元さんのまじめで勤勉な勤務態度を想起させながら、優しい人柄や人情味ある行動に共感させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 搜索場面について指摘しながら、「祈るような気持ち」に着目させて、後悔を含め、さまざまな思いがあったことを考えさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「考えさせられることばかり」に着目させながら、きまりを守ることの意味について考えさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> きまりにはきびしくしなければならない理由があることをおさえつつ、元さんの前向きな生き方に共感させたい。
主な発問	姉弟を入園させた時、元さんはどんな気持ちだったのか。	姉弟が戻るのを待つ時、元さんはどんなことを考えていたのか。	二通の手紙を前に、元さんはどんなことを考えていたのか。	元さんがはればれとした顔で身のまわりを片付け始めたのはどうしてか。

二通の手紙

元さん

入園係 勤勉 臨時
優しい まじめ

姉弟

何かの事情
泣き出さんばかり

場面絵①

入園口で話す

姉弟を入園させた時、元さんはどんな気持ちだったのか。

よろこばせたい
願いを大切にしたい
だいじょうぶだろう

姉弟が戻るのを待つ時、元さんはどんなことを考えていたのか。

無事でいてほしい
入園させなければよかった
迷惑をかけた

場面絵②

出口で待つ

二通の手紙を前に、元さんはどんなことを考えていたのか。

お礼の手紙

入園させてよかった
いいことをした

解雇の通知

無責任な判断だった
まちが이었다

場面絵③

二通を前にする

元さんが、はればれとした顔で身のまわりを片づけ始めたのはどうしてか。

大切なことに気づくことができたから
あのことは間違이었다とわかったから
これでよかったんだと思えたから